



## じゃがいものおうち通信

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

1999年7月15日

NO. 11

発行責任者 楯 篤雄 〒 891-4404 屋久町尾之間 658-1  
TEL/FAX 09974-7-3032 mokkuri@d1.dion.ne.jp

宮之浦 佐々木さんより

## 心身障害児（小規模）通園事業について

6月18日に県福祉屋久島事務所で、心身障害児（小規模）通園事業について、じゃがいものおうちから7名と上屋久町屋久町福祉課の課長2名、屋久島事務所の課長、熊毛支庁の係長、保健所の方が2名の合計13名で話し合いがありました。

週6日の通園を必要とするのに対し、少人数であることと、屋久島では通園に時間がかかるといった事が問題になりました。結果、上屋久町と屋久町で週3日づつと分けてはどうかといった案がでました。他に、通園については話しがまとまったのですが、通園の人数の事で問題があり、1日の通園に最低5名は必要だということでした。

この事だけクリア - 出来れば私たちの念願の通園事業が叶います。みんなで力を合わせ、なんとか人数を集めるしか方法はないと思うのですが、心の中は不安でいっぱいです。

「やるしかない!!」と、思わないですか？

じゃがいものおうち ガンバレ!

< 大地ママより >

みなさんに相談です。御意見をお聞かせ下さい。

尾之間温泉祭り出店準備をします!

このたび尾之間診療所の市地先生より、じゃがいものおうちに役立つなら使ってくださいと、約10坪の土地を提供していただきました。場所は診療所敷地内です。このあたりは屋久町の福祉ゾーンに指定されており、拠点として申し分のない場所です。それから建物は近いうち移築しなければならない4.5坪の木造の家があります。

それだけではあまりに小さいので、もうひと部屋とトイレを増築し、引っ越しや増築の件費などは、ボランティアで、増築に必要な建材等の必要経費は今まで蓄えてきた資金を使わせていただく。というのは、いかな

ものでしょう。拠点としての使われ方は、今のところ会の集会所として、うちの子や吉利さんちの貴司くんのデイサ-ビスの場として試してみようと思うのですが、まずは皆さんのご意見をお待ちしておりますので、よろしく願いいたします。

それにしても市地先生ありがとうございました。

< 良い返事、厳しい返事、お待ちしております >

(楯 篤雄)



7月31日(土)は尾之間温泉祭りです、今年も木工作品を出店したいと思います。つきましては木工作品の制作、じゃがいものおうちオリジナルブランド開発を、下記の日程で行います。木工が好きだと思ふ方、ぜひお越し下さい。

7月25日(日) AM 10:00 ~ PM 3:00

場所 屋久町尾之間 楯宅

Tel 7-3032

## 夏の交流会予定

7月26日(月)

栗生の青少年旅行村でキャンプをします。

9号にも乗せました、鹿児島市吉野町より「どんぐりのいえ」の子どもたちが来島され、子ども達だけの力で自然を生かした遊びや生活体験を楽しむキャンプをします。

どんぐりのいえの子どもたちが、いったいどんな遊びをし、大人の押しつけではなく自らの力でうごく姿に触れあってみたいと思います。

それから夕食後には「にんぎょうともえ座」による人形劇もあります。

とても楽しい交流会になりそうです。皆さんよろしくお願い致します。

8月8日(日)

屋久町 原 子供会育成会と千尋の滝までハイキングをします。

たまには、ちまたの自然に触れてみましょう。